



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和3年(2021年)
第1回定例会

No.261

令和3年(2021年)
5月1日発行

3年度当初予算案を可決

税金の使い道は?コロナ対策は? **議会がチェック!**



「こぶし」咲く丘 (小宮公園 草地広場)

今号は、久保山町在住の **小坂 博** さんの作品です。

 **小宮公園**

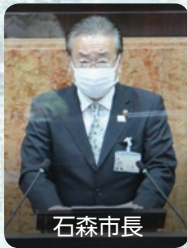
大谷町と暁町にまたがる都立公園。中心部は湧き水の流れる広い谷で、野鳥の声とともに木道を散策できます。園内最高所のひよどり山では、開放感あふれる広場の大きなコブシの木が、春を知らせてくれます。

向けた予算を審議

市長が提案した3年度当初予算は、予算等審査特別委員会で審査し、本会議で記名投票により原案のとおり可決しました。
2～9ページでは予算審議の主な内容を掲載しています。



市長が提案した3年度当初予算は…



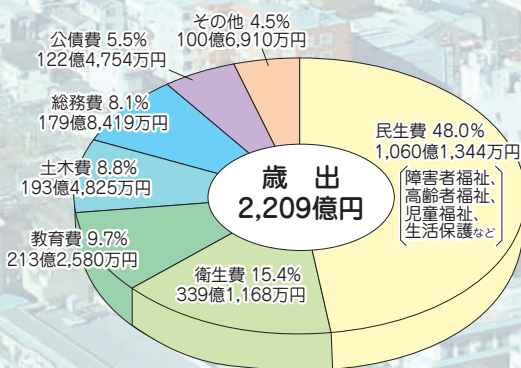
予算総額4,400億円のうち、

一般会計は2,209億円 (前年度2,009億円)

- ◇財政調整基金を取り崩し、経済の回復に必要な財源を確保
- ◇基金残高は200億円台を確保し、財政の健全性を堅持

歳出の特徴

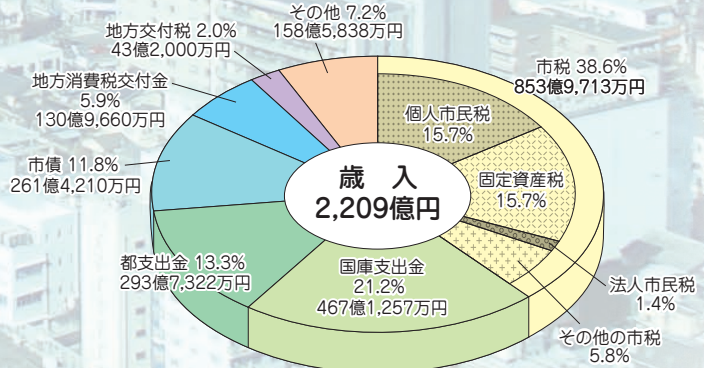
- 新たな館清掃工場の建設、新保健所の整備などによる投資的経費の増
- 障害者自立支援給付の増などによる義務的経費の増



こう使われる

歳入の特徴

- 個人所得や企業収益の減少、新型コロナ対策での税の軽減措置等による市税収入の減
- 市税収入の減に伴う臨時財政対策債※の増

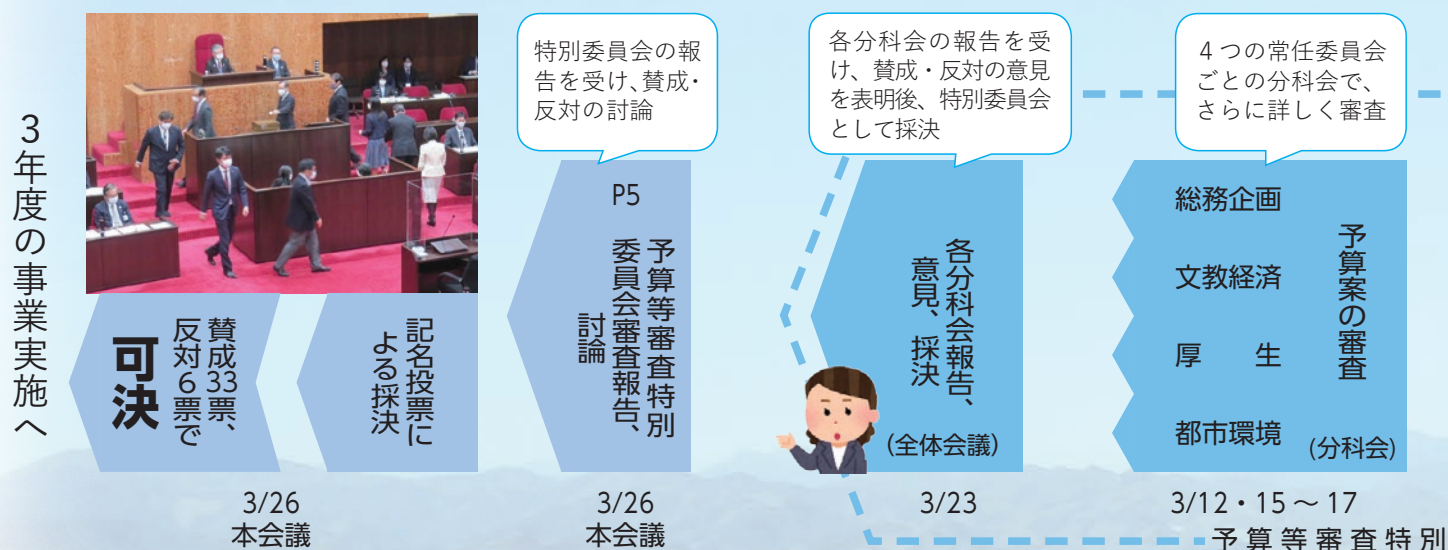


この財源が

※臨時財政対策債＝国からの地方交付税の原資が足りないため、不足分の一部を地方自治体が借り入れる地方債(市債)。その返済は、将来の地方交付税で賄われる。

令和3年度
当初予算審議

市民生活・地域経済を回復し、 「ポストコロナ時代」の「新たな日常」に



令和3年度当初予算の規模 () は前年度			
会計	当初予算額	増減額	増減率
一般	2,209億円 (2,009億円)	200億円	10.0%
特別 [8会計]	1,968億20万円 (1,841億7,205万円)	126億2,815万円	6.9%
公営企業 [1会計]	222億5,830万円 (245億9,377万円)	△23億3,547万円	△9.5%
合計	4,399億5,850万円 (4,096億6,582万円)	302億9,268万円	7.4%

3年度に進める主な重点事業

新型コロナ感染拡大を防止

- 新型コロナワクチン接種を実施
- 総合コールセンターの体制を強化
- PCR外来の運営や、医療機関等を対象としたウェブセミナーを継続

新型コロナの影響を受けた中小企業を支援

- 小規模事業者に対する経営相談体制を強化
- 市内事業者の受注機会の確保や雇用の創出のため道路工事の計画を前倒し

地域経済の発展

- 「日本遺産」認定の歴史文化のストーリーなど本市の魅力を発信し、イベントを実施

行政のデジタル化・オンライン化

- スマートフォンから各種証明書が申請できるシステムを導入
- 問い合わせに24時間人工知能が自動で対応するチャットボットシステムを拡大
- マイナンバーカード利用で住民票の写し等を取得できる「コンビニ交付」を導入

輝く未来への投資となる大型事業の推進

- 八王子駅南口集いの拠点の用地を取得
- 温かい中学校給食のため給食センターを整備

「地域づくり」の推進

- 社会参加や住民主体の地域づくりを一体的に支援する重層的支援体制を整備

録画中継は
こちら予算案に
対する

会派代表質疑

3月4日の本会議で、各会派が代表質疑を行いました。主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

市民クラブ

相澤 耕太



開発とともに低炭素まちづくりを

低炭素まちづくりの推進を

問 旭町・明神町地区再開発において、環境負荷低減につながる低炭素まちづくり推進の考えは。

答 当該地区の開発では、低炭素社会に貢献する熱供給施設が地区内に設置されていることを踏まえ、低炭素まちづくりの進展に寄与する事業となるよう検討していく。

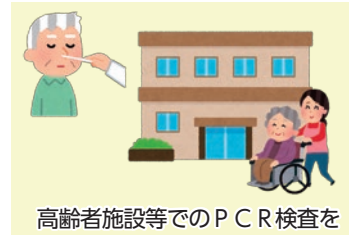
森林環境譲与税を有効に

問 森林環境譲与税で日本遺産の魅力向上につながる環境整備を行い、当該税の有効活用を市民に示してほしいがどうか。

答 森林は貴重な市民の財産でもある。日本遺産の魅力発信に多摩産材を利用するなど、当該税の活用が市民にわかるように環境整備等を進めていく。

日本共産党 八王子市議会議員団

青柳 有希子



高齢者施設等でのPCR検査を

新型コロナウイルス収束に向けて

問 ワクチン接種の準備が進む中、今こそ市の判断で民間のPCR検査を活用し、高齢者や障害者、保育などの施設で幅広く検査を行うべきではないか。

答 現時点では市として、施設での社会的検査の実施は考えていない。引き続き、保健所設置市の利点をいかし、医師会と連携を図り、適切に判断していく。

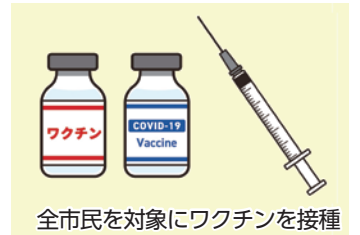
障害者施設の補助減に反対

問 障害者の日中の居場所である施設への家賃補助は、運営の安定のためにも削減すべきではないと考えるがどうか。

答 補助目的は法改正による制度の移行支援であった。移行終了で当初の目的は達成し、他自治体でも廃止・縮小されている。

八王子市議会公明党

村松 徹



全市民を対象にワクチンを接種

ワクチンの個別接種を

問 新型コロナウイルスのワクチン接種は、集団接種とことだが、かかりつけ医による個別接種も必要ではないか。

答 本市は、医師会と協議を重ね、集団接種で実施することが効果・効率であると判断した。今後、複数のワクチンが承認された際には、医療機関による個別接種について、医師会に協力を求めていく。

体育施設への空調機設置は

問 3年度予算に、避難所となる体育施設への空調機設置を計上しているが、整備計画は。

答 新型コロナウイルス対策で、避難所内の換気と環境改善を図るため、開設頻度が高い施設を計画的に整備していく予定である。

立憲民主・市民の会

安藤 修三



多様なストレスへの対応を

コロナ禍での心のケアは

問 コロナ禍の長期化で、市民は多様なストレスを受けている。市として、全力を挙げて心のケアに取り組んでほしいがどうか。

答 相談窓口の周知のほか、保健師による心の健康相談など、市民の心身の健康維持に全庁で取り組んでいく。

持続可能な財政運営を

問 国・都の厳しい財政への影響が危惧される。本予算は多くの市債を発行することとなっているが、自主財源を確保し、持続可能な財政運営を行う考えは。

答 まちの魅力を高め、経済活性化を図ることで自主財源を確保し、不測の事態にも対応可能な財政運営を行っていく。

自民党新政会

吉本 孝良



観光と連携した魅力の発信を

観光と一体的な推進を

問 日本遺産をいかすには、観光や文化財を巻き込んだ一体的な取り組みが必要ではないか。

答 観光との連携や、学芸員を活用し、構成文化財の魅力を広めることが必要と考えている。今後は観光と文化財の一体的な取り組みを積極的に進め、日本遺産のまちとして、文化振興を推進していく。

市政運営に対する考えは

問 市民の命と生活を守り、市民とともに夢と希望の持てるまちの実現へ、全力で取り組む考えは。

答 目指すまちの姿の実現に向け、市民に寄り添い、ニーズを的確に捉え、スピード感を持って取り組むことで、市民の命を守り、地域経済を支えていく。

予算案に対し、こう考える

録画中継は
こちら⇒

討論

3月26日の本会議で、3年度予算案の採決に先立ち、議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。各議員の討論から、主な内容を掲載しています。

討論とは...

本会議で議案を採決する前に、議案に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。会派を代表した議員に加え、会派に所属しない議員も意見を表明できます。

賛成

八王子市議会公明党
村松 徹



商店などへの経済対策を万全に

税收の大幅減が予想される中、予算編成の柱は「新型コロナウイルス対策」「行政のデジタル化対応」「防災・減災対策」と考えていたが、しっかりと手立てしていることを評価する。

コロナ禍に対する経済対策では、中小企業支援やサテライトオフィス設置補助などの施策を計上しているが、国・都補助も活用し、企業や商店の支援に万全を期してもらいたい。

今後も行財政改革を進めつつ、市民サービス向上に取り組むことを要望し、本予算に賛成する。

賛成

自民党新政会
岩田 祐樹



地域経済回復への施策を評価

コロナ禍の中、事業継続や雇用課題を抱える事業者を対象にした経営相談体制の強化に加え、事業継続支援補助金の支給を合わせて行い、切れ目なく、スピード感を持って企業支援に努めることを高く評価する。

長期化するコロナ禍の今こそ、「夢と希望が持てるまち」の実現が求められている。100年の歴史に裏打ちされた市民力・地域力をいかし、市民一人ひとりが生きがいを感じることで、できる地域共生社会の実現に期待し、本予算に賛成する。

賛成

立憲民主・市民の会
森 喜彦



市民生活のためのさらなる対策を

税收が厳しい中、前年を上回る一般財源を確保し、市民生活に大きな影響が出ないよう配慮した予算と考える。

国のコロナ対策は経済政策が目立つが、市民生活に最も身近な市の対策は、住居・教育・保健福祉等にわたり、公共サービスのレベルを上げていくことが重要である。市民が安心して社会経済活動を再開できるよう、ワクチン接種の円滑な実施、感染症予防のための情報提供、保健所の体制強化等に取り組むことを要望し、本予算に賛成する。

賛成

市民クラブ
相澤 耕太



全職員が目的意識の共有を

3年度に実施する道路照明灯のLED化の推進や、省エネエアコン購入費補助は、二酸化炭素の削減に加え、電気料金の削減や熱中症予防等、目的や効果が複合的で優れた施策である。

今後の本市には、地球温暖化防止や少子高齢化など、現代社会が抱える大きな課題を軸として捉え、全職員による目的意識の共有が必要であると考える。限られた予算を有効にいかすため、長期的視点に立った事業の組み立てを行うことを要望し、本予算に賛成する。

反対



前田 佳子

諸 派

賛成



若尾 喜美絵

自然環境保全の観点を持つべき

川口土地区画整理事業で、都市公園として整備予定の自然環境保全ゾーンへの市の考えが見えない。沢の堰堤設置計画も環境保全とは矛盾し、改めるべきであり、本予算に反対する。

子どもたちの未来の安心に向け

給食センターの整備や、給食残渣の堆肥化、食育の充実を図ることは高く評価する。子どもたちの未来の安心に向け、地球温暖化対策の強化、有機農業の推進を求め、本予算に賛成する。

反対

日本共産党
八王子市議会議員団
鈴木 勇次



授業でも体育館の空調機の活用を

学校体育館の空調機設置については、災害時に学校体育館に開設する避難所の環境改善が目的であり、原則、授業では利用しないとのことである。猛暑から子どもを守り、教育活動を保障することは市の責務であり、設置している空調機を授業で利用しないことは、市民の理解を得られないものではない。

また、コロナ禍の中、国民健康保険税を値上げすることは、求めてきた市民生活に十分配慮した予算とはいえないことから、本予算に反対する。

委員会 の審査から (総括質疑)

新たな新型コロナ対策など

3年度予算について35名の議員が質疑しました

問 避難所における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、簡易型避難テントを配備する。

答 避難所における隔離スペース確保のために、室内用多目的テントを2年度に配備しているが、3年度に配備予定のテントについて聞きたい。

答 配備予定の簡易型避難テントは、避難所内で飛沫感染を防ぐために、一般避難者が利用することを想定している。今後、プライバシー確保に加え、感染拡大防止に活用するため、風水害時に

避難所用のテントの配備は



簡易型避難テントで避難所内の空間を区切り、感染拡大を防止 (イメージ)

開設予定の避難所に、3・4年度の2カ年で900張りを配備する。

問 コロナ禍の中で行政のデジタル化を推進し、新しい生活様式に対応する。

答 オンライン手続システムの導入による効果は。

問 スマートフォン等から本人確認やキャッシュレス決済の手続きができるようになり、自宅から外出することなく、マイナンバーカードを利用して、各種証明書の交付申請などが可能になる。

答 デジタル化の推進に民間を活用する考えは。

答 スピード感を持ってデジタル化を進めるには、民間の知

デジタル化の取り組みは

見を取り入れることが必要と考えている。新たに配置するデジタル推進専門官に民間有識者を採用し、本市のデジタル化を支えてもらうとともに、その知見を活用して、職員の意識改革など人材育成にも努めていきたい。

問 デジタル化で得られた時間や人材、財源により、市民に寄り添った行政サービスを実現させるための考えは。

答 最新のデジタル技術を積極的に活用することで、業務の刷新や市民視点でのサービスの変革、地域社会の課題解決に寄与するものと考えている。

コロナ禍から市民生活・地域経済を回復し、ポストコロナ時代の新たな日常を構築する。

ポストコロナ 新たな日常への市政運営は

問 ポストコロナ時代における市政運営の考えは。

答 感染拡大防止と、市民生活・地域経済の支援を最優先に取り組み、市民が夢や希望を持ちながら地域で活躍し、子どもたちの笑顔があふれるま

問 コロナ禍により、市税収入が大幅減の見込みとなる中で、予算編成で注意を払った点は。

答 全事業で実施手法を見直し、行政改革大綱の目的達成に向け、多様な財源の確保や既存施設の有効活用を予算に反映するよう徹底した。

問 歳入を市税収入に頼るだけでなく、さらなる自主財源の確保に取り組みべきではないか。

答 現在、ネーミングライツの導入や地図情報板での広告料収入等、公共施設を活用した取り組みを進めている。今後さまざまな工夫を凝らし、自主財源の確保に努めていきたい。



民間企業等の広告掲載で広告料収入を得ている地図情報板(八王子駅南口総合事務所)

予算等審査特別

3年度予算案は、本会議で予算等審査特別委員会（西山賢委員長、小林裕恵副委員長）に付託され、全体会議と分科会において慎重に審査しました。

ここでは、3月8日～11日の全体会議で行った総括質疑の主な質疑と答弁の要旨を掲載しています。

録画中継はこちら⇒



西山 賢 委員長



小林 裕恵 副委員長

問 新型コロナウイルスの発症・重症化予防、まん延防止のため、ワクチン接種を実施する。

答 新型コロナウイルスの安全かつ迅速な接種に向け、全力で取り組まなければならない。公共施設等で行う集団接種の予約について聞きたい。

答 密の回避とワクチンが無駄なく使用するため、完全予約制とし、予約なしで会場に来た場合は接種できない。当初はワクチンが少なく、予約が取りにくいことが想定されるが、希望者は必ず

問 新型コロナウイルスへの対策として、市民が適切な医療を受けられるよう地域医療体制を整備する。

答 コロナ禍の中、本市独自のウェブ会議（インターネットを活用した会議）により生まれた医療機関と行政との強固な連携は、市の財産である。構築した地域連携の成果と、今後の考えは。

答 ウェブ会議での情報共有や、転院受入促進事業など、築いてきた地域連携体制により、都内1日の陽性者が2千人を超えた時期でも、本市保健所の対応は停滞せず、適切な入院調整ができた。

医療機関とのさらなる連携は



市内新型コロナ患者受入病院等と本市で頻りに情報交換を行っているウェブ会議

3年度も感染拡大状況や新たな知見に対応した取り組みを機動的に実施し、適切な時期に適切な対応が図れるよう取り組んでいく。

安全で迅速なワクチン接種に向けて

接種できる時期が来るので、個別通知や市ホームページなどで周知を徹底していく。

問 現在承認されているワクチンは、間隔を3週間空けて2回接種する必要がある。接種のタイミングなど、市民の問い合わせに対応できるよう、国が示した接種記録システム導入の考えは。

答 全国の自治体が統一のシステムを利用することで、他の自治体での接種情報も迅速に確認できる。既に本市の委託事業者と調整し、接種開始に合わせた対応が可能と考えている。

保護者が就労している児童の居場所づくりや、ひとり親家庭の自立促進のための支援を行う。

困窮する子育て世帯への支援は

問 ひとり親家庭を含め、コロナ禍で引き続き困窮している子育て世帯に対する緊急的支援の考えは。

答 新型コロナウイルスの影響を受けたひとり親家庭への国の給付金のほか、本市独自の給付金も支給してきた。国や都の動向を注視し、さらなる支援の必要性を適切に判断していく。

問 コロナ禍の中で世帯年収が減り、働きに出る保護者が増えると、保育園や学童保育所等の受け入れ先が必要となる。頑張る子育て世帯を応援するため、受け皿を拡充できないか。

答 保育園は、今後のコロナ感染状況にもよるが、一時保育等の実施頻度や定員を増やすなど、柔軟に対応していきたいと考えている。また、3年度整備予定の学童保育所2施設以外に、待機児童が生じる学童保育所の緊急対策として、学校の余裕教室を活用した受け皿の確保など、コロナ禍において保護者が安心して就労できる環境整備に努めていく。



保護者が就労している児童の受け皿として、余裕教室も活用し、学童保育所を整備

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予算等審査特別委員会の全体会議を、全員協議会室から広い議場に変更して開催



産業振興の方向性を示す産業イノベーションプランの策定に向け、調査・分析を行う。

問 プラン策定に当たり、3年度から調査・分析や策定検討委員会での検討を行うが、社会情勢の変化と課題への考えは。

答 技術の進歩によるデジタル化や、コロナ禍による新しい生活様式の浸透で、産業を取り巻く環境等が大きく変化している。策定に当たっては、大きな経済の

都が開設する多摩産業交流センターと連携を深めるほか、イベントを検討する。

問 MICE※誘致に向け、センターの指定管理者との深い連携が必要ではないか。

答 効果的なMICE誘致の実現のため、開設までの期間に指定管理者との定期的な意見交換や人的な交流を含め、地元への経済波及効果が最大になるよう取り組む必要があると考えている。

問 本市のものづくり企業が、市内の学生など次世代を担う人材に選ばれる企業になるために、センターでのイベントで、その魅力を発信する考えは。

社会の変化に合った産業施策を

流れを捉え、市内の経済状況を把握することが課題と考えている。

問 策定には、幅広い世代から意見を聞くことが重要である。若者の代表として、策定検討委員会の委員を大学コンソーシアム八王子等から起用してはどうか。

答 大きく変化していくこれからの時代を切り開いていく若い世代の声を聞くことは、重要と考えている。委員の選定には、各団体から若い世代の声を確実に取り入れられるよう取り組んでいく。

産業振興に向け新たな連携は



完成予想図です
実際とは異なる場合があります(東京都提供)
展示ホールや会議室を備える都立多摩産業交流センターは、4年度に開業予定

答 市内企業が将来にわたって活躍するには、若い世代に就職先として関心を持ってもらい、人材を確保することが重要である。ものづくり企業の魅力や強みを発信する場として、イベントを積極的に活用していきたい。

支援を必要とする子どもへの体制充実を

不登校に関する問題解決への支援を行う。また、第五次特別支援教育推進計画を策定する。



登校支援を必要とする児童・生徒への教育の提供にも、学習用端末の活用を

問 不登校児童・生徒への支援として、スクールソーシャルワーカーが全小・中学校の巡回相談を行っているが、一人1台の学習用端末を活用し、支援につなげる考えは。

答 学級活動等をオンラインで配信し、登校支援を必要とする児童・生徒と学校をつなぐ試み等を始めている。端末を活用し、一人ひとりの状況や特性に寄り添った教育活動を行い、すべての子の学びを保障していく。

問 第五次特別支援教育推進計画を策定するが、これまでの成果を、どのように計画に反映するのか。

答 これまでの取り組みで、特別支援教室の全小・中学校への導入等、特別な支援を必要とする児童・生徒を受け入れる教育環境の土台作りができた。本計画はその土台をいかし、ICT教育の充実等、社会状況の変化や保護者のニーズを捉えた計画にしてい

※ MICE (マيس) = Meeting (会議や研修等)、Incentive (視察等)、Convention (国際会議等)、Exhibition (展示会等) を総称した造語。



視聴議員

出席議員

開会・採決時以外は出席議員を調整し、他の議員は5階の傍聴席等で質疑を視聴

総括質疑とは ...

予算等審査特別委員会の全体会議において、会派ごとの持ち時間制で行う質疑のことです。

今定例会の総括質疑は、3月8日～11日に行い、新型コロナへの対応で、1日の会議時間を短縮する中、35名の議員が行いました。

問 空き家の取り壊し費用を補助することによる効果は。

答 地震時に倒壊の恐れがある住宅の除却による安全性の向上や、管理不全になる前の除却による環境悪化の防止などを効果として期待している。

問 空き家に対する相談体制の3年度の改善点は。

答 市民にわかりやすくするため、市の相談窓口を一元化し、空き家の発生抑制から管理不全対策まで、総合的に空き家対策を推

宅地への活用を促進するため、耐震基準を満たさない空き家の除却費用を補助する。

問 地球温暖化対策地域推進計画を改定する目的は。

答 2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロとする国の方針を受け、現行計画で設定していない長期目標を設定し、目標値を国に合わせるためである。

問 改定の際には、子どもや若者など次世代の意見を取り入れるべきと考えるがどうか。

答 国の方針を受け、地球温暖化対策地域推進計画を改定し、長期目標の設定を行う。

今後の空き家対策は



屋根や壁の損壊など周囲の生活環境を害する管理不全の空き家を除却

問 進する体制を整えていく。

答 空き家に対する重点対策について聞きたい。

問 今後、空き家になる可能性が高い高齢者のみが住んでいる住宅への対策など、発生抑制に重点を置いていく。

地球温暖化対策地域推進計画の改定は

問 地球温暖化対策は、行政だけでは推進できないと考えている。改定に当たっては、環境市民会議や地球温暖化対策地域協議会など、市民や事業者、有識者の意見を交えて改定していく。

答 今後の地球温暖化対策に対する考えを聞きたい。

問 長期目標の設定を地球温暖化対策推進の転換期と考え、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの達成に向け、ゼロカーボンシティ宣言※も視野に入れ、前向きに取り組んでいきたい。

新型コロナの経済対策として、市内業者の受注機会を確保するため、道路整備等を前倒して実施する。

市内業者に対し、さらなる受注の機会を

問 新型コロナウイルスの経済対策として、交通安全施設や生活道路の整備などで、市内業者の受注機会を確保することだが、対象路線の選定理由は。

答 道路の修繕予定から、市内業者が受注可能な路線を抽出し、国や都の補助金の採択基準に合致しない路線などを選定している。

問 本事業で地域経済の活性化を図るとのことだが、市内業者へ配慮している点を聞きたい。

答 本事業は、すべての市内業者が受注できる内容に特化している。工事規模や箇所なども配慮し、多くの市内業者が受注機会を得られるよう、工夫して発注していきたい。

問 本事業以外の発注においても、市内業者が受注できるようにしてもらいたいがどうか。

答 市内業者には、さまざまな実績があることから、事業内容を精査し、受注できるように努めていく。



浅川ゆったりロードの交通安全施設の整備や道路の改良整備などの工事を市内業者で

令和3年 第1回 定例会

本会議

市長提出議案をすべて可決

3年第1回定例会は、2月24日に開会し、本会議で議案を審議し、3年度予算議案を含む市長提出議案60件すべてと、議員提出議案2件を可決しました。可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

●全議案の審議結果は12ページへ

可決した付託省略議案

- 教育長の任命(安間英潮氏)
- 監査委員の選任(矢野和利氏)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任(武林秀則氏)



本会議のようす

- 一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- 国指定史跡八王子城跡保存用地の取得

議員提出議案

議員提出議案は、条例1件と規則1件を可決しました。

可決した条例

■市議会委員会条例の一部改正

市の執行体制の変更に伴い規定を整備

可決した規則

■市議会会議規則の一部改正

会議欠席の届出の規定に産休期間の範囲等を明記

委員会

常任委員会付託議案を審査

本会議で付託された一般会計補正予算など市長提出議案10件は、各常任委員会慎重に審査

を行いました。主な審査状況などは次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 2月25日

■一般会計補正予算

新型コロナウイルスに対する医療活動への応援経費を計上

問

八王子エール便は、医療従事者へ八王子ゆかりの品とともに市民の感謝の声を送付するとのことだが、対象者は。

答

市内の新型コロナウイルス患者受け入れ病院で、直接、患者と接する医療従事者や会計などの事務担当者を想定している。

問

エール便の予算は、新型コロナウイルス対策への寄附金を活用するとのことだが、寄附者へ



八王子ゆかりの品を掲載しているカタログから医療従事者等に希望する品を送付

はどのように報告するのか。
寄附者の意向に沿った事業を実施し、結果を報告することが市の義務と考えている。

答

広報紙のほか、今後作成するパンフレット等の中で、エール便という形で寄附者の気持ちを届けたことを報告していきたい。

本市のラジオ番組を拡大して放送する経費を計上

問

コミュニティFM(ラジオオ)で新型コロナウイルス関連の情報を発信するため、週3回の市政情報番組の放送枠を5分延長するとのことだが、ラジオを活用する必要性は。

答

新型コロナウイルス関連の情報は、市ホームページや広報紙のほか、できる限り多くの媒体で市民に伝える必要がある。そのため、音声で情報を伝えるラジオの特徴もいかながら、情報を発信していきたい。

問

市政情報に加え、新型コロナウイルス関連の情報をラジオで放送していることを知ってもらうため、新しい広報手段を開拓していく考えは。

答

市政情報をラジオで放送していることをさまざまな形で伝え、聴く人を増やすことは大切であると考えているため、新しい形のPRについて、今後、検討していきたい。

より多くの市民に放送を聴いてもらう取り組みは不可欠と考える。市職員の出演など、地域のラジオを市と一緒に作っていくという温かい視点で情報発信できないか。

問

拡大して放送する新型コロナウイルス関連の情報コーナーに、保健所職員の出演を予定している。今後も、市民が身近に感じている情報の発信に取り組みたい。

答

結果 可決すべきものと決定

開催日 3月15日

《主な報告事項》

◇4月以降の市の執行体制
◇申請書等における押印見直し

都市環境委員会

開催日 2月26日

■一般会計補正予算

省エネ性能が高いエアコンの購入費を補助

問

環境負荷の低減事業であるが、対象をエアコンに限定した理由は。

答

家庭から排出される二酸化炭素の削減に加え、近年、自宅で熱中症になる方が増えていることから、その予防を図るためである。



統一省エネルギーラベルで省エネ性能の星の数を確認 (星の数が4以上が補助対象)

問 二酸化炭素の排出量削減が目的であれば、1世帯当たり1台の補助ではなく、複数台にできないか。

答 予算も限られており、広くさまざまな世帯に本事業を活用してもらえよう、1台に限定した。また、高齢者のみの世帯や子育て世帯には、さらに補助金の上乗せを行うため、まずは申請状況や動向を確認しながら進めていきたい。

問 新規や買い換えが対象とのことだが、家の新築で設置した場合は。

答 3月15日以降に市内の販売店(量販店を含む)で購入し、省エネ性能の星の数が4以上などの条件が整っていれば可能である。

問 市民が補助の条件を知った上で購入できるように、なるべく早く周知できないか。

答 補正予算成立後、速やかに市ホームページに掲載するとともに、3月15日号の広報紙で周知する予定である。また、早急にチラシを作成し、市事務所のほか、高齢者や子育て世帯が利用する施設にも置き、広く周知していきたい。

結果 可決すべきものと決定

《報告事項》

◇大塚227番地先水路樹木伐採委託における事故

開催日 3月17日

《報告事項》

◇4月以降の市の執行体制

厚生委員会

開催日 2月26日

■一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種の経費を前倒して予算化

問 国が当初の予定よりワクチンの供給量を確保できず、計画が立てにくい状況にある中、柔軟に対応できる体制づくりに努めてほしいがどうか。

答 3月から接種できるよう準備を進めてきたため、いつでも接種開始できる体制は整えている。会場や人員の確保など、長期的に臨機応変な対応ができるよう調整している。

問 平日に公共施設等を活用して集団接種を行うほか、小・中学校の体育館も活用することのことが、体育館ではどのように実施するのか。

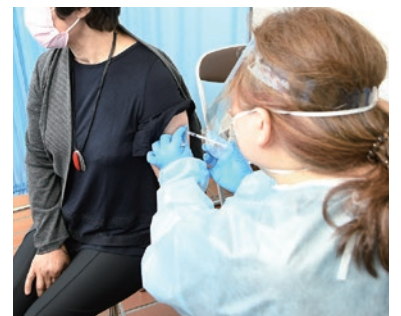
答 現在の計画では、日曜日の朝8時30分から夕方5時の間に、1会場で1千人実施予定である。基本的には1会場当たり、医師の問診が5レーン、看護師による接種が7レーンで実施することを考えている。

問 種の希望者に対し、集団接種を安心して受けてもらえるよう、周知できないか。

答 国が示した、送付する予診票は、かかりつけ医への相談の有無を確認する項目が入っている。また、かかりつけ医に相談できる体制を医師会の協力のもと進めており、その内容を記載した本市独自の通知の作成も考えている。

問 ワクチン接種の有無にかかわらず、引き続き感染症対策が必要と考えるがどうか。

答 ワクチン接種で100%感染が防げるというものはなく、これまでの対策と合わせて行うことが重要である。市



本市では4月中旬から高齢者へのワクチン接種がスタート

ホームページでも掲載しているが、引き続き、あらゆる場面で周知していきたい。

生活困窮者への緊急の食品支援の経費を増額

問 今回補正の生活困窮者への食品支援を行うフードバンク団体への補助は、新型コロナウイルス対策の寄附金を活用することだが、その旨をメッセージとして発信すべきではないか。

答 今回の補助対象は4月以降に団体を通じて食品を配付する経費としており、その際、寄附金を活用していることを発信していきたい。また、ホームページ等を通じ、寄附者の目にも届く形を検討したい。

新型コロナウイルス患者の受け入れ医療機関に補助を実施

問 市内の新型コロナウイルス患者受入病床のさらなる確保を図

るための病床の支援は、200床を目標にすることだが、その理由について聞きたい。

答 現在、都内では4千900床を最大確保として目指している。都立病院等を除いた4千床に対し、本市人口が都内の約20分の1なので、200床を目標とした。

支援団体を通じ、虐待への見守り体制を強化

問 虐待リスクの高い児童等への見守り体制の強化は、どのように行うのか。

答 見守りを委託し、3人程度の支援スタッフの配置で、常時20人程度の児童に週1回の訪問等を50週、延べ約1千回の見守りを想定している。市が介入的な指導を行うと、関係が保てなくなる保護者もいるため、委託先には状況を把握し、関係を保っていくことを重視してもらうよう考えている。

結果 可決すべきものと決定

《報告事項》

◇高齢者あんしん相談センターの移転

開催日 3月17日

《主な報告事項》
◇4月以降の市の執行体制

文教経済委員会

開催日 2月25日

■一般会計補正予算

新型コロナウイルスの影響で減収となった事業所を支援

問 厳しい経営状況にある市内事業所に支援金を支給することだが、対象の事業所数はどのように算出したのか。

答 年間売上が一定額以上の事業所や、国や都の支援を受ける事業所を除き、これまで行った支援事業から想定される申請率を加味して算出した。

問 支給基準は売上減少率3割以上だが、該当しない事業所でも売上が減少し、厳しい状況である。基準を売上に限定せず、柔軟に対応する考えは。

答 できる限り早く支給するために、申請者の手続きの負担が少なく、市が明確に判断できる売上減少率を基準として進めていきたい。

国補助の追加により学校施設の改修費を増額

問 今回の補正で行う小・中学校のトイレ改修は、15校以上にはできなかったのか。

答 工事の音が授業の妨げにならないよう、夏季休業期

間中に工事を行える最大限の15校とした。

問 外壁改修の対象校は、児童・生徒数が減少している。改修は、学校施設の再編の検討と合わせるべきではないか。

答 対象校は小規模化の課題はあるが、まずは子どもたちの安全のため必要な改修を行っていききたい。今後、学校施設の再編については、他の公共施設の再編や地域づくり推進事業との整合性を図りながら進めたいと考えている。

学校の感染症対策や教職員研修等の経費を追加

問 研修の経費は、オンライン学習に関する研修等、校長が必要と判断したものだが、学校間でICT活用には差が出ないよう、市の基本的な考えを示すべきではないか。

答 各学校により実情が異なるため、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応できることが本事業の特徴である。内容は、学校から実施計画書の提出を受けることで点検していく。

問 前回の補正に続き、コロナ禍での子どもの学びの保障にも使えるとのことだが、具体例は。

答 前回の補正では、密を避けるため空き教室で授業を



新たに設置した液晶ホワイトボードで、学びを充実（中野北小）

行う場合等に、液晶ホワイトボードを購入した例がある。

事業計画の変更により学校のプール改修費を減額

問 中学校のプール改修を一時的に見送ったとのことだが、減額ではなく3年度へ繰り越し、早期に実施すべきではないのか。

答 2年度は新型コロナウイルスの影響で水泳の授業を中止とした。3年度も再開が不透明な中、さまざまな事業の優先順位を改めて整理し、繰り越しを見送り、減額することとした。

結果 可決すべきものと決定

開催日 3月15日

《報告事項》
◇4月以降の市の執行体制

令和3年(2021年) 第1回定例会 議案の審議結果一覧			会派の賛否							結果	
			自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派			
議員提出議案 2件			付託 委員会	14人※1	10人	4人	4人	3人	4人		
条例等 (主な内容)	市議会委員会条例の一部改正 (市の執行体制の変更に伴う規定の整備)		—	○	○	○	○	○	○	可決	
	市議会会議規則の一部改正※2 (会議の欠席の届出に産休期間の範囲を明記)										
市長提出議案 60件			付託 委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果	
人 事	教育長の任命 (安間英潮氏)		—	○	○	○3欠1	○	○	○	同意	
	監査委員の選任 (矢野和利氏)										
	固定資産評価審査委員会委員の選任 (武林秀則氏)										
2年度 補正予算	一般会計補正予算 (第7号)		全	○	○	○	×	○	○	可決	
	国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)		総・厚	○	○	○	○	○	○	可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)										
	介護保険特別会計補正予算 (第2号)										
	土地取得事業特別会計補正予算 (第1号)										
	借入金管理特別会計補正予算 (第4号)										
	給与及び公共料金特別会計補正予算 (第5号)										
	駐車場事業特別会計補正予算 (第1号)										
都											
条 例 (主な内容)	特例児童扶養資金、母子臨時児童扶養等資金及び父子臨時児童扶養資金貸付金の償還の免除に関する条例の廃止 (免除の対象が存在しなくなり、制定目的がすべて達成されたことによる条例の廃止)		厚	○	○	○	○	○	○	可決	
	一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正 (新型コロナウイルスに関する特殊勤務手当の特例支給期間の延長)										
	国民健康保険条例の一部改正 (法令改正に伴い新型コロナウイルスの定義を規定)										
	国指定史跡八王子城跡保存用地の取得 (八王子城跡の本質的価値の保存のため、史跡区域内の土地を取得)										
その他	市道路線の認定		都	○	○	○	○	○	○	○	可決

市長提出議案（続き）		付託 委員会	会派の賛否						結果
			自民党	公明党	市民フ	共産党	立憲民	諸 派	
3年度 予算	一般会計予算	予	○	○	○	×	○	○2×2	可決
	国民健康保険事業特別会計予算								
	後期高齢者医療特別会計予算								
	介護保険特別会計予算								
	母子・父子福祉資金特別会計予算								
	土地取得事業特別会計予算								
	駐車場事業特別会計予算								
	借入金管理特別会計予算								
	給与及び公共料金特別会計予算								
	下水道事業会計予算								
	組織条例の一部改正（市の執行体制の変更）								
市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例設定 （市長等の市に対する損害賠償責任の一部免責を定める条例の制定）									
債権管理条例設定 （市の債権管理の事務処理基準等を定める条例の制定）									
外国人留学生奨学基金条例の廃止 （外国人留学生奨学金制度の廃止に伴う基金の廃止による条例の廃止）									
手数料条例の一部改正（証明書等の郵送費用の徴収を規定）									
印鑑条例の一部改正（コンビニ等に設置された多機能端末機による印鑑登録証明の申請等に関する規定の追加）									
外国人留学生奨学金支給条例の廃止 （外国人留学生奨学金制度の廃止による条例の廃止）									
児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
障害福祉サービス事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
指定障害者支援施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例等の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
地域活動支援センターの設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
福祉ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 （省令改正に伴う規定の改正）									
保健所関係手数料条例の一部改正 （法令改正に伴う営業許可に関する申請手数料の設定）									
国民健康保険条例の一部改正（所得割額税率など保険税率等の改定）									
介護保険条例の一部改正（介護保険事業計画に基づく保険料の設定）									
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例等の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正（省令改正に伴う規定の改正）									
中小企業次世代人材確保支援条例の一部改正（奨励金の交付対象者に、専門職大学の前期課程を修了し市内中小企業に就職した者を追加）									
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正（グリーンヒル寺田団地地区・大和田町五丁目地区を追加）									
【その他】	包括外部監査契約の締結								

○：賛成 ×：反対 欠：本会議を欠席

<会派名>
自民党：自民党新公会
公明党：八王子市議会公明党
市民フ：市民クラブ
共産党：日本共産党八王子市議会議員団
立憲民：立憲民主・市民の会
諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>
総：総務企画委員会
文：文教経済委員会
厚：厚生委員会
都：都市環境委員会
全：4 常任委員会（総・文・厚・都）
予：予算等審査特別委員会
一：付託せず

※1 議長を除く
※2 規則の詳細はこちら⇒



○：賛成 ×：反対 欠：本会議を欠席

<会派名>

自民党：自民党新国会
 公明党：八王子市議会公明党
 市民ク：市民クラブ
 共産党：日本共産党八王子市議会議員団
 立憲民：立憲民主・市民の会
 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会
 文：文教経済委員会
 厚：厚生委員会
 都：都市環境委員会
 全：4常任委員会（総・文・厚・都）
 予：予算等審査特別委員会
 一：付託せず

※1 議長を除く

※2 規則の詳細はこちら→



議会活動レポート

第1回定例会以外にも、委員会などさまざまな議会活動を行っています。

委員会名等	実施日	内容	案件・報告事項
議会運営委員会	2/12	会議	第1回定例会のコロナ禍における運営
	2/19		第1回定例会の運営
総務企画委員会	2/15	会議	再犯防止推進計画(素案)について 委任専決処分の報告 (元八王子町三丁目地内交通事故に係る損害賠償の和解)
文教経済委員会	2/15	会議	委任専決処分の報告 (元本郷町三丁目地内交通事故に係る損害賠償の和解 など)
厚生委員会	2/16	会議	精神障害者保健福祉手帳の交付にかかわる取扱業務の一部拡充 医療・介護関連データを用いた医療経済研究機構との共同研究について 幼児教育・保育センターの設置
都市環境委員会	2/16	会議	委任専決処分の報告 (諏訪町地内交通事故に係る損害賠償の和解 など)
都市づくり・ニュータウン 対策特別委員会	2/2	会議	空き家等対策計画(素案)について 空き家に関するセミナー及び相談会について など
交通対策特別委員会	2/3	会議	委員会の調査研究に基づく各委員の意見について など
復興支援・防災・危機管理 対策特別委員会	2/4	会議	「令和元年東日本台風」災害復旧状況(行政対応分) 「令和元年東日本台風」対応における検証項目と主な課題及び対応内容 など
次世代支援・高齢社会 対策特別委員会	2/5	会議	コロナ禍における学生の状況 若者総合相談センターの利用状況 など
議会改革を推進する会議	1/18	会議	会議の検討結果(最終答申)について
	2/10	—	会議システムのデモンストレーション
ICT導入準備会	2/24	会議	クラウド型情報共有会議システムの導入について
	3/23		タブレット使用に当たっての詳細なルールについて

15ページ
にも関連記
事を掲載

市議会からのお知らせ

■会派代表者の変更

4月1日付で「自民党新政会」の代表者が鈴木玲央議員になりました。

会派名簿はこちら↓



■会議の様子はホームページで

本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継しています。また、録画中継は会議終了後、おおむね7日後から配信します。

会議の様子ははこちら↓



■詳しくは会議録で

本紙掲載の質疑の詳細など、本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館などで閲覧できるほか、市議会ホームページでも閲覧できます。なお、3年第1回定例会の本会議の会議録は、5月下旬までに完成予定です。

会議録はこちら↓



■点字版・声の市議会だよりを発行

目の不自由な方のために「点字版市議会だより」や、掲載内容を読み上げた「声の市議会だより」を作成し、ご希望の方に郵送で配付しています。希望する場合は、庶務調査課へご連絡ください。

市議会トピックス

新型コロナウイルスに 対応した議会運営を実施

コロナ禍の中、今定例会においても、市議会の感染拡大防止と市の新型コロナウイルスへの対応に配慮した議会運営を行いました。

引き続き、演壇等への飛沫防止のためのアクリル板の設置や、議場に入る際の手指消毒、密を避けるための会議室の変更や傍聴席の利用など、万全の対策に努めながら、新型コロナウイルス対策をはじめとする3年度当初予算案等を慎重に審議しました。

市議会協議会を臨時開催

新型コロナウイルスにかかるとの緊急事態宣言の再発出に伴い、本市の現状と対応を確認するため、1月26日に臨時の市議会協議会を開催しました。

密を避けるために議場で傍聴席も活用し、質問は事前通告制とするなど、短時間で終了するように配慮しました。

今定例会で新たに取り組んだ主な対応

- ◇各常任委員会及び予算等審査特別委員会は、密を避けるため、通常の会議室ではなく、広い議場や全員協議会室で実施



議場で行った総務企画委員会

- ◇予算等審査特別委員会（総括質疑・分科会）の各日の会議時間を短縮
《おおむね午後5時⇒3時終了》

- ◇議員は会議日に登庁した際に検温を実施



入室前に検温

市議会議員研修会に参加

2月8日に、東京都市議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

2年度は、会場での開催ではなく、インターネットを使ったライブ配信となりました。講師には、東京都副知事の宮坂学氏が招かれ、「スマート東京の推進に向けて」をテーマに講演が行われました。



YouTube を視聴して研修を受講

東日本大震災の 犠牲者へ黙とう

東日本大震災から10年が経過した去る3月11日、議場にて開催した予算等審査特別委員会において、犠牲者を追悼するため、発災時刻の午後2時46分から1分間の黙とうを捧げました。



議会改革を推進する会議が 最終答申書を提出

議会改革の推進に向け議論を重ね、コロナ禍の中での議会報告会や、広聴広報機能向上のための会議体設置、タブレット端末等を用いたICT活用など、意見をまとめ、1月26日に答申を行いました。

答申の内容などは
こちら↓



議長に答申書を提出



傍聴席（手前）の議員も含め、議場内の全員で黙とう

表紙写真を募集

市民に親しまれる市議会だよりを目指し、「ひびき」の表紙を飾る写真を募集しています。採用者には、議長からの感謝状を贈ります。

**あなたの感動を
発信しませんか？**

◎募集内容

夏をイメージし、市内で撮影した行事・風景・まちなみ・自然など、第2回定例会号(8月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真

◎募集期間

5月1日～6月30日

ホームページはこちら⇒
問い合わせ：庶務調査課



議場コンサートのお知らせ

各定例会の初日の本会議前に行っている議場コンサートは、新型コロナ感染拡大防止の観点から、昨年6月の第2回定例会以降実施していません。

今回は、6月7日に予定していますが、今後の状況により開催を見合わせる可能性がありますので、最新の情報は市議会ホームページでご確認ください。

ホームページはこちら⇒
問い合わせ：庶務調査課



「ひびき」へのご感想・ご意見をお聞かせください



ま～姫、千人くんは、八王子市議会を紹介するキャラクターです。

ホームページではアンケートを実施しています

アンケートはこちら⇒
問い合わせ：庶務調査課



次回の定例会の主な予定

令和3年(2021年) 第2回定例会

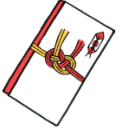
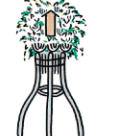
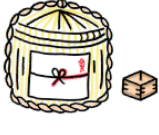
会期：6/7～6/24

日	月	火	水	木	金	土
5	7/31	6/1	2	3	4	5
	招集告示日		議会運営委		議会運営委	
6	7 開会日	8	9	10	11	12
	議会運営委 本会議(ネット) (常任委員会 委員等改選)			本会議(ネット) (一般質問)		
13	14	15	16	17	18	19
	議会運営委 本会議(ネット) (議案審議等)	総務企画委 文教経済委	厚生委 都市環境委			
20	21	22	23	24 最終日		
			議会運営委	本会議(ネット) (採決等)		

委：委員会 ネット：市議会ホームページで中継

- 会議(議会運営委を除く)は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程については、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議事課

政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

 お歳暮やお年賀	 入学祝・卒業祝	 病気見舞い	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪	 町内会の集会や旅行などへの寸志や飲食物の差入
 お祭りへの寄附や差入	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入	これらの行為は すべて禁止です！	

みんなで徹底しよう「三ない運動」



※昨年の第1回定例会と同様に、自粛により一般質問は実施ませんでした。